

令和8年度模擬講義一覧表

県立広島大学

【全学共通教育】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
A1	語源を使って単語力アップ (全学共通教育科目：英語総合)	大学では専門分野の英語の文献を読むことが求められます。専門分野の単語を理解する力が重要ですが、語源を使って単語を理解する力があれば、さまざまな応用をすることが可能です。	本岡 直子	PC用プロジェクタ及びスクリーン(PCは持参)
A2	私たちの生活と憲法 (全学共通教育科目：日本国憲法)	憲法は、私たちにとって非常に身近なものです。普段の生活の中で、少し意識すると、その存在と大切さに気づくことができます。身近な憲法についてお話をします。	岡田 高嘉	PC用プロジェクタ及びスクリーン(PCは持参)
※ A3	統計学入門 (全学共通教育科目：統計入門)	50%の確率で当たるくじを10本引いたら全てハズレだった！50%の確率で当たるというのは嘘？私に運がなかったの？どちらがもっともな答えなのかを統計学を学んで理解していきます。	富田 哲治	PC用プロジェクタとスクリーン
A4	ことばと音声・ことばと文字 (全学共通教育科目：英語総合)	無意味な音の連続が意味をもった言語の音声になり、文字がほかの絵や図形と区別されるようになるのはなぜなのでしょう。ことばへの「気づき」を手がかりに、英語を学び直すヒントをつかんでください。	河村 和也	スクリーンおよびプロジェクタ(パソコンは持参します)
A5	ことばに見るモンゴルの文化 (全学共通教育科目：世界の言語と文化)	ことわざや「名付け」などを例にモンゴル特有の文化を知り、世界に暮らすさまざまな文化を持つ人々と分け隔てなく交流していくための手がかりを探ります。	河村 和也	スクリーンおよびプロジェクタ(パソコンは持参します)
A6	心理学とは (全学共通教育科目：心理学)	心理学では、いったいどのようなことをやっているのか、まずはその広い領域の内容を概説します。そしてその中から知覚や記憶、思考など領域における心理学の知見をお話します。	坪田 雄二	スクリーン、プロジェクタの準備をお願いします(PCは持参します)
A7	教師になるには (教職科目：教職入門)	教師になるための過程について解説します。どの学校種・教科の免許を取得するか、そのためにはどのような方法があるのか、就職状況はどうなっているのか、などについて紹介します。	藤井 宣彰	

A8	「わかりやすい日本語」 を目指そう (全学教育共通科目：アカデミック日本語)	「わかりやすい日本語」のポイントを考えましょう。 E メールや貼り紙など、大学生活で出会う日本語の文書の例を見ながら、より分かりやすく、より誤解なく伝えるにはどう改善すれば良いか議論します。	中石ゆうこ	留学生向けの科目 大型モニター(あるいは PC 用プロジェクタ及びスクリーン) ※PC は持参します。
A9	LGBTQ って何？ ～日本の性別の在り方を考える～ (全学教育共通科目：文化人類学)	世界には「第三の性」と言われるものがあります。文化人類学では性を女と男の二つと考えていません。このような考えから日本の性別の問題点を知ってみましょう。	上水流久彦	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定、但し HDMI のみ接続可)
A10	多文化共生と日本社会 (全学教育共通科目：文化人類学)	近年、「多文化共生」という言葉が、日本で広がっています。日本の多文化共生はなぜ始まり？どうして必要となっているのでしょうか。また、日本社会の特徴から多文化共生の意義と課題について考えてみましょう。	上水流久彦	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定、但し HDMI のみ接続可)
A11	浮世絵に描かれる宮島の魅力を探そう (全学共通教育科目：「宮島学(歴史資料の活用)(地域教養ゼミナールB)」)	宮島を描いた浮世絵を鑑賞したことがありますか？現在の宮島と、浮世絵に表現される景観を比較し、その違いを発見しながら、江戸～明治時代の人々が感じた宮島の魅力を探りましょう。	大知 徳子	スクリーン、プロジェクタ (PC 及び配布資料は持参の予定)
A12	医療情報マネジメント (全学共通教育科目：地域教養ゼミナール)	日本では、高齢化や人口減少への対策として、医療サービスの生産性を高めるため、情報技術を活用したマネジメント手法の開発が進んでいます。電子カルテや遠隔診療、AI 技術などの進展により、医療の将来がどのように変化するかを考えてみましょう。	島川 龍載	PC 用プロジェクタ及びスクリーン (PC は持参、HDMI のみ接続可)
A13	医療介護の制度政策 (全学共通教育科目：地域教養ゼミナール)	日本では国民皆保険で誰もが医療を受けられ、介護保険で高齢者を支援しています。しかし、高齢化や少子化で財源や人手不足の課題が深刻化しています。予防医療や地域包括ケアシステムなど制度政策を理解し、私たち一人ひとりが支える役割を考えましょう。	島川 龍載	PC 用プロジェクタ及びスクリーン (PC は持参、HDMI のみ接続可)
※ A14	《人間》と《動物》 —近代小説入門 (全学共通教育科目：文学)	近年、人文学の領域では、《人間》と《動物》の関係性を捉え直す「動物論」が流行しています。本講座では、こうした観点を芥川龍之介「羅生門」等の読解に導入しつつ、近代小説を「読む」ための知見と技術を、高校生の皆さんに共有します。	福田 涼	スクリーンとプロジェクター (PC は持参します)

※再掲あり

【地域創生学部 地域創生学科 国際共生コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
B1	外国人の子どもの教育 (国際共生コース専門科目:多文化共生教育論)	近年, 深刻な労働力不足により多くの外国人労働者を受け入れています。外国人が暮らすにあたり, その子どもの教育は保障されるのでしょうか? 日本に暮らす外国人の子どもの教育課題についてお話したいと思います。	植村 広美	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
B2	日本語を科学する (国際共生コース専門科目:日本語学 I・II)	「あかさたなはまやらわ」は, ある規則に従って並んでいます。その規則とは? では「です」と「ます」の違いは? …このように身近にありすぎて普段は気にとめない日本語のあれこれについて, 科学的に見つめてみましょう。	小川 俊輔	プロジェクタとスクリーン (PC は持参します)
B3	琉球の帰属問題と東アジアの国際情勢 (国際共生コース専門科目:東アジア地域史論)	1879 年の「琉球処分」とその後の帰属問題を巡る交渉は, 現在の沖縄県のあり方にも様々な形で影響を与えることとなりました。この問題を日本と琉球だけでなく, 中国や朝鮮を含めた東アジアの国際情勢から考えてみましょう。	岡本 弘道	プロジェクタとスクリーン (PC は持参します)
B4	「アメリカ文化と川のイメージ」 (国際共生コース専門科目:米国社会文化論)	大陸国家であるアメリカにとって, 川は魚という自然の恵みをもたらしてくれるだけでなく, 運輸・交易のための重要な交通路でもあり, アメリカの人々にとって非常に身近な存在だったといえます。小説や映画などを題材に, バリエーションに富んだアメリカ文化の川のイメージを紹介します。	栗原 武士	可能であればスクリーンとプロジェクタをご用意ください。
B5	意味ってどういう意味? (国際共生コース専門科目:英語表現論)	なんとなく理解している「意味」について考えていきましょう。絵や写真を使って, ことばのイメージに注目します。当たり前を考察しながら, 多様性を実感しましょう。英語による講義です。	ジェシカ・タインズ (Jessica Tynes)	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
B6	日韓言語比較入門 (国際共生コース専門科目:韓国語文化論)	韓国語 (文字) の構造と言語史について, 一般言語学的方法論を中心にして, 日本語と比べながら紹介します。	チョン・ウテク (鄭遇澤)	プロジェクタ, スクリーン (PC 持参の予定)
B7	〈技〉の文化史 (国際共生コース専門科目:「古典文芸で読む日本文化」)	アニメ・漫画などで登場するキャラクターは, 〈技〉を繰り出し, 作品を彩っています。さて, そのような〈技〉の表現は, いつ頃からあるのでしょうか? 日本の古典文芸から〈技〉の文化史を読み解きます。	目黒 将史	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)

B8	描かれる巖島の風景— 火焼前の灯籠をめぐって— (国際共生コース専門科目： 「古典文芸で読む日本文化」)	巖島社殿にある火焼前(ひたさき)の灯籠を知っていますか？知らないよと思ったあなたも、実はこの脇で写真撮影したことがあるのではないのでしょうか。巖島のランドマークとは何か、〈平家物語〉絵画から探っていきます。	目黒 将史	スクリーンとプロジェクタ(PC持参の予定)
B9	日常における記憶の不思議 (国際共生コース専門科目：共生認知心理論)	私たちの日常生活は「記憶」に支えられています。しかしながら、試験や失敗経験がない限り、「記憶の存在」に気がつくことはほとんどありません。本講では記憶の仕組みとその不思議について、事例を交えながらお話しします。	向居 暁	プロジェクタとスクリーン(PCは持参します)
B10	やる気の心理学 (国際共生コース教職関連科目：教育心理学)	学校には「やる気」に関する疑問が満載です。本講では、「やる気」に関する心理学の理論や研究結果を紹介しながら、褒めることや叱ることの効果、体罰がいけない理由、自己決定の大切さなどについて学びます。(主として教職志望者対象)	向居 暁	プロジェクタとスクリーン(PCは持参します)
B11	志賀直哉「流行感冒」を読む (国際共生コース専門科目：日本語表象論)	約百年前、「スペイン風邪」が世界的に流行し、多くの犠牲者が出ました。その最中に書かれた志賀直哉「流行感冒」を、今般のコロナ禍の経験を踏まえつつ精読し、我々が生きる「日常」のありかたについて再考します。	福田 涼	スクリーンとプロジェクター(PCは持参します)
※ B12	《人間》と《動物》—近代小説入門 (全学共通教育科目：文学)	近年、人文学の領域では、《人間》と《動物》の関係性を捉え直す「動物論」が流行しています。本講座では、こうした観点を芥川龍之介「羅生門」等の読解に導入しつつ、近代小説を「読む」ための知見と技術を、高校生の皆さんに共有します。	福田 涼	スクリーンとプロジェクター(PCは持参します)
B13	「道中記からみる庶民の旅」(国際共生コース専門科目：日本文化史論)	江戸時代の交通の発展や商品経済の発達を背景として、文化・文政期(1800年代前半)に、庶民の間で旅が流行しました。広島藩における交通網と旅の実態について、紹介します。	杉山 聖子	スクリーンとプロジェクター(PCは持参します)
B14	台湾社会から学ぶ日本の人権状況 (地域創生学科・国際共生コース専門教育科目東アジア社会文化論)	台湾ではジェンダー平等化が日本より進んでおり、同性婚が法的に認められています。そのような台湾の状況を知り、日本の人権について考えてみましょう。	上水流 久彦	プロジェクタとPC接続HDMI

※再掲

【地域創生学部 地域創生学科 経営コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
C1	最も身近なマーケティングのお話 (地域創生学科・学部学科共通科目：マーケティング概論)	「お客様に喜んでもらいたい」、そのために企業はさまざまな活動を皆さんの周りで行なっています。身近な私たちの日常生活の中から、「マーケティングとは何か」を紹介しながらマーケティングを学ぶ楽しさをお話します。	栗島 浩二	プロジェクタとPC接続RGBケーブル、スクリーン
C2	なぜあのお店で買ってしまうのか～繁盛店の秘密～ (地域創生学科・経営コース専門教育科目・経営戦略・マーケティング系科目：流通システム論)	普段なにげなく利用しているお店にも科学がたくさん隠れています。皆さんが気づいていない繁盛するお店の秘密を探りながら、お店づくりのマーケティングを紹介します。	栗島 浩二	プロジェクタとPC接続RGBケーブル、スクリーン
C3	経営学ってどんなことを考えるの？ (地域創生学科・経営コース専門教育科目・経営戦略・マーケティング系科目：経営戦略論)	経営学は、企業や組織がどのように運営され、成功を目指すかを考える学問です。身近な商品やサービスを題材に、経営学の主要な考え方を説明します。	朴 唯新	プロジェクタ、スクリーン (PCは持参します)
C4	コーラの味は国ごとに違うべきか (地域創生学部・経営コース専門教育科目・経営戦略・マーケティング系科目：国際経営論)	世界中で売られているコーラ。世界で売れるためコーラは国ごとに味を変えているのでしょうか？海外でビジネスを行う際、国毎の違いに対処する必要があります。違いを利用することで儲けている企業の例を用いて、経営学の楽しさをお伝えします！	長桶 和也	プロジェクタ、スクリーン (PC持参)
C5	商売どうすりゃ「もうかる」の？ (地域創生学科・経営コース専門教育科目・会計ファイナンス系科目：管理会計論)	「もうかった」とよく言いますが、商店や企業が「もうかる」とはどういうことなのでしょう？「もうけ」はどのようにして計算されるのか、そして「もうけ」を出すには何を考えないといけないのかについて、時にはゲーム等も交えながらお話します。	足立 洋	プロジェクタとPC接続RGBケーブル、スクリーン (机が可動式ですとなお幸いです)
C6	やさしく分かるもうけの仕組み -新商品ハンバーガーを開発し利益を上げよ- (地域創生学科・経営コース専門教育科目・会計ファイナンス系科目：簿記原理)	ハンバーガーを題材にしたゲームを通じて、楽しみながら会計を学ぶアクティブ・ラーニングを行います。ゲームを通じてもうけの仕組みを理解できるはずですが、あるいはお腹が空いてしまうかもしれませんが、講義後の食べ過ぎにはご注意ください。	加納 慶太	スクリーン、プロジェクタと白板(黒板)。 (PC持参の予定)
C7	レゴ・モーターショー・ゲーム -会計の視点からビジネスを学ぶ- (地域創生学科・学部学科共通科目：会計学概論)	プレイヤーはレゴ・ブロックで車を作り、モーターショーでのプレゼンを通して、ライバル会社に勝利することを目指します。楽しみながらもうけの仕組みやビジネスを学べます。もしかすると未来の名車が誕生するかも？	加納 慶太	スクリーン、プロジェクタと白板(黒板)。 (PC持参の予定)

C8	もしプロ野球球団を買うなら？～価値評価の考え方～ (地域創生学部・学部共通科目：ファイナンス概論)	もしあなたがプロ野球球団を買うとしたら、いくらで買いますか？この講義では、ファイナンスの一分野である企業価値評価の考え方について紹介し、その考え方を使って実際にプロ野球球団の価値を計算してみます。	村上 恵子	プロジェクタ、スクリーン (PC は持参します)
C9	「ひろしまレモン」が地域ブランドになった秘密 (地域創生学部・経営コース専門教育科目・政策科学系科目：地域産業論)	福岡は「黄」で広島は「赤」。それは野球の話。博多駅は「赤」で広島駅は「黄」。これは土産の話。博多駅はイチゴと明太子の土産があふれ、広島駅にはレモンの土産がいっぱい。この講義では、ひろしまレモンが新しい広島ブランドになった秘密をお話します。	和田 崇	スクリーン、プロジェクタ (PC 持参)
C10	まちづくりプロジェクトの進め方ー探究学習にも使えるよ！ー (地域創生学部・経営コース専門教育科目・政策科学系科目：地域調査法)	「総合的な探究の時間」で地域課題を解決するアイデアを考えなさい！って、急に言われても…。そんな人にはこの講義。まちづくり実務経験者が、地域調査手法、まちづくりプロジェクトの企画・実践方法を伝授します。この授業を聞いて、まちづくりって面白い！と感じた人は、県立広島大地域創生学部経営コースの政策科学分野を要チェック！	和田 崇	スクリーン、プロジェクタ (PC 持参)
C11	豊かさって、どう測る？ (地域創生学部・経営コース専門教育科目・政策科学系科目：マクロ経済学)	経済が成長しても、貧困はなくなることがあります。それはなぜでしょうか。 データと「社会のものさし」から、本当の豊かさとは何かを一緒に考えてみましょう！ 「総合的な探究の時間」で社会問題を考えるヒントにもなる内容です！	山根 智沙子	プロジェクタ、スクリーン (PC は持参します)
C12	わかっているのに、やめられない！その人間の心理とは？ (地域創生学部・経営コース専門教育科目・政策科学系科目：行動経済学)	つつい先延ばししてしまう。「期間限定」に弱い、などなど。そんな私たちの意思決定には、実は、「判断のクセ」があります。簡単な経済実験を通して、その特徴を体験してみませんか？行動経済学の視点から、日常生活をより豊かにするヒントや、経済政策への応用について一緒に考えましょう！	山根 智沙子	プロジェクタ、スクリーン (PC は持参します)
C13	知的財産って何？ (地域創生学部・地域産業コース専門教育科目：知的財産権関連講座)	発明やデザイン、ブランド、著作物はどうのように保護されるのか。知的財産権の仕組みやその重要性について、具体的な事例を交えながら分かりやすく解説します。	川畑 哲郎	プロジェクタとPC 接続 HDMI もしくはRGBケーブル、スクリーン
C14	アイデアについて考えてみよう！ (地域創生学部・経営コース専門教育科目：知的財産権関連講座)	グループワークを通じて、実際にアイデアを考えてもらいます。アイデアはどのように生まれるのか、その発想法を解説しながら、学生が主体的に取り組める講義を行います。	川畑 哲郎	プロジェクタとPC 接続 HDMI もしくはRGBケーブル、スクリーン

【地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
D2	競技力向上に必要な栄養学について (地域創生学科健康科学コース専門科目：体力評価実習等)	スポーツ選手が競技力を向上させるためには、質の高いトレーニングと、適切な栄養摂取の両者が必要不可欠です。ここでは、トレーニングの目的・内容に応じた栄養学について解説します。	鍛島 秀明	PC用プロジェクタとスクリーン
D3	運動時の飲み物について考える (地域創生学科健康科学コース専門科目：スポーツ栄養学)	運動時に飲み物を摂取することは、脱水予防やエネルギー源補給のために必要です。運動時に最適な飲料とは何かについて、我々の研究内容を紹介しながら解説します。	山岡 雅子	PC用プロジェクタとスクリーン
D4	食品加工・貯蔵における化学と生物 (地域創生学科健康科学コース専門科目：食品学、食品化学)	食品原料のほとんどは生物由来のものです。また、食品を加工・貯蔵するに当たって複数の生物が関わり、さまざまな化学反応が起こっています。そこで、発酵食品の日本酒を例にとり、その加工・貯蔵における化学と生物の関わりについて解説します。	谷本 昌太	PC用プロジェクタとスクリーン
D5	食べることと健康 (地域創生学科健康科学コース専門科目：調理学、給食経営管理論)	食べるという行為には、「おいしい・まずい」「食べたい・食べたくない」という感情が影響します。また、私たちが今後もおいしく食べ、私たち自身の健康を維持するためには、地球（環境）も健康でなければなりません。普段の食事や学校給食を例に、ひとが健康に食べることの意味について考えます。	杉山 寿美	
D6	健康に関する情報をどう読む？ (地域創生学科健康科学コース専門科目：公衆栄養学)	新聞、テレビ、雑誌、広告など、健康に関する情報が溢れています。どのように読み、判断していけばよいのでしょうか？いっしょに考えてみましょう。	森脇 弘子	PC用プロジェクタとスクリーン
D7	ライフステージから考える栄養学 (地域創生学科健康科学コース専門科目：応用栄養学、ライフステージ栄養学)	身体の成長・発達、老化に伴ってエネルギーや栄養素の必要量は変化します。そのため、各ライフステージの特性と栄養の関係性を知ることは大切です。この講義では、妊娠期の栄養について解説します。	辻 愛	PC用プロジェクタとスクリーン
D8	環境とスポーツ科学 ～夏場の運動パフォーマンス向上と熱中症予防～ (地域創生学科健康科学コース専門科目：生理学)	暑い中で運動をすることの影響や熱中症・運動パフォーマンス低下を防ぐ方法について、私たちの身体を調節するしくみ（生理学）を理解しながら、スポーツ科学研究の結果を踏まえて学んでいきます。	辻 文	PC用プロジェクタとスクリーン

D9	<p>「患者さま」の栄養管理 (地域創生学科健康科学コース専門科目：臨床栄養学等)</p>	<p>適切な栄養管理は、私たちの健康の保持・増進や生活の質（QOL）を高く保つために極めて重要です。この講義では、「高血圧」「糖尿病」などの生活習慣病の予防および治療効果を高めるための栄養療法などを中心に、闘病中の「患者さま」の栄養管理方法について考えます。</p>	神原 知佐子	PC用プロジェクタとスクリーン
D11	<p>腸内環境と腸内細菌叢について (地域創生学科健康科学コース専門科目：生化学等)</p>	<p>私たちの体の周りには様々な細菌が生息し、特に腸の表面には無数の細菌が暮らしています。この講義では、腸内細菌の私たちの体に与える影響や生活習慣との関連などを中心に、最近の研究を踏まえながら解説します。</p>	岡田 玄也	PC用プロジェクタとスクリーン
D13	<p>子どもたちへの食育の重要性 (地域創生学科健康科学コース専門科目公衆栄養学実習等)</p>	<p>近年、食を取り巻く環境は変化しており、子どもにおいても、偏った栄養摂取や不規則な食事といった食に関する様々な課題を抱えています。この講義では、小・中学校での食育の取り組みや、子どもに身に付けさせたい食に関わる資質・能力について考えます。</p>	鈴木 麻希	PC用プロジェクタとスクリーン
D14	<p>食品の中の水の働き (地域創生学科健康科学コース専門科目：食品学実験等)</p>	<p>食品の多くは水分を含んでいます。そのため、例えば食品のテクスチャーは水の働きに大きく影響を受けます。みなさんが普段口にする食品の変化に水がどのように関わっているのかについて解説します。</p>	松本 茜	PC用プロジェクタとスクリーン

【地域創生学部 情報学科】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
E1	デジタル画像のお話 (情報学科専門教育科目・CU2・情報系：画像情報処理)	本講義では、インターネット、携帯電話、デジカメなどが扱うデジタル画像の生成や処理の基本をわかりやすく紹介します。また、指紋画像や顔画像の識別とその最新応用の話題にもふれます。	肖 業貴	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E2	「ファジィ」の話 (情報学科専門教育科目・CU1・数理系：知能情報学)	ファジィは曖昧のことを指します。ファジィ理論とは、「ちょうどいい」「なんとなく」「とても」などといった人間の主観的な思考や判断の曖昧さに数学的な枠組みを与えて、定量的に推論・処理するための数学理論です。本講義では、コンピュータに如何にファジィ情報を処理させるかについて、分りやすく説明します。	韓 虎剛	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E3	マルチメディアと Web (情報学科専門教育科目・CU2・共通：グラフィカルプログラミング)	今や私たちの生活に密接に関係しているインターネット (Web) とマルチメディアについて、まずはそれぞれの仕組みとそれらの関わりなどについて説明します。また、実際に本学の学生が、卒業論文で作詞した Web アプリを実際にお見せしながら、インターネットとマルチメディアの最新技術についてお話します。	宇野 健	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E4	デジタルものづくり～プログラミング入門 (情報学科専門教育科目・CU1・共通：プログラミング)	私たちが利用しているスマホのアプリはもとより、身の回りの家電製品にはコンピュータのプログラムで制御されています。これらのアプリやプログラムを作る作業のことをプログラミングといいます。この講義では、基本的なプログラミングの考え方を身近な例に例えてわかりやすく解説します。	宇野 健	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E5	インターネットパケット交換の仕組み (情報学科専門教育科目・CU2・情報系：情報ネットワーク)	本講義では、従来の回線交換の仕組みと比較しながら、インターネットパケット交換の仕組みについて解説し、インターネット情報伝送の特徴、メリット、デメリット等を分かりやすく紹介します。	陳 春祥	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E6	仕組みから見るインターネットの光と陰 (情報学科専門教育科目・CU2・情報系：情報ネットワーク)	インターネットは我々の生活のインフラの一部として、欠かせない存在になってきています。一方インターネットを取り巻く様々な問題がおきています。本講義では、インターネットの仕組みから紹介して、インターネットの光と陰について解説します。	陳 春祥	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E7	情報技術の基礎知識を身につけよう！ ー基本情報技術者試験科目 B の実践的学習法ー (情報学科自由選択科目：基本情報技術者試験対策演習)	情報系の国家資格に情報処理技術者試験という資格試験があります。本講義では、基礎レベルの『基本情報技術者試験』について、本試験の科目 B を解くにあたっての一般的な注意事項と学習上のアドバイスをを行います。また、疑似言語を用いて記述されたプログラムとデータ構造及びアルゴリズムの問題の解き方・考え方に習熟する方法として、プログラミングを取り入れた実践的学習法について紹介します。	小川 仁士	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
E8	ゲームプログラムの進歩 (情報学科専門教育科目・CU2・共通：応用プログラミング)	将棋や囲碁をプレイするコンピュータプログラムは、現在では非常に強くなり、その強さは人間の最強プレイヤーを超えるレベルとなりました。人間のプレイヤーは自分の勉強・研究にもコンピュータプログラムを活用しています。将棋や囲碁などの思考型ゲームのプログラムの仕組みや、これまでの進歩と現状について紹介します。	佐々木宣介	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E9	情報セキュリティ対策の考え方 (情報学科専門教育科目・CU2・情報系：情報セキュリティ)	コンピュータウイルス、個人情報保護等、情報セキュリティに関する問題は現在では社会の重要な課題となっています。会社のような組織で対策を行う場合には、「情報セキュリティマネジメント」という考え方で、組織的に対応する必要があります。この情報セキュリティマネジメントの考え方について、わかりやすく解説します。	佐々木宣介	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E10	深層学習入門 (情報学科専門教育科目・学部 共通科目：人工知能概論)	深層学習が使われるようになってから、人工知能の進歩が加速しています。ひろしまは、ものづくりが盛んであり、IoTやAIが必要とされ、いろいろな製品に組み込まれています。私たちの生活で使われている深層学習の基礎について説明します。	市村 匠	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E11	広島県観光情報スマートフォンアプリ (情報学科専門教育科目・学部 共通科目：人工知能概論)	観光地でとった写真やコメントを投稿できるスマートフォンアプリ(広島県観光マップ)を開発しました。投稿情報から画像やテキスト、位置情報などのデータ分析をし、観光地を発見する仕組みを説明します。	市村 匠	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E12	システム制御入門 (情報学科専門教育科目・CU2・数理系：数値解析)	私たちの生活の中では、様々な場面で制御が行われています。本講義では、基本的な制御の方法について、簡単な例を挙げて分かりやすく説明します。	重丸 伸二	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E13	コンピュータシミュレーション入門 (情報学科専門教育科目・CU2・共通：コンピュータシミュレーション)	実際に行うことが困難な場合や問題が解析的に解けない場合にシミュレーションが用いられます。本講義では、問題や現象をモデル化しコンピュータ上でその振る舞いを模倣する方法について例題を用いてわかりやすく説明します。	重丸 伸二	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)
E14	AI時代の電気と水の使い方：環境に配慮した新しい社会基盤のありかた (情報学科専門教育科目・CU2・情報系：モバイルネットワークシステム)	今、世界にはAI需要によるデータセンターの空前の建設ラッシュが起きています。データセンター急増は以前から電力枯渇が心配されていますが、実は、深刻な水不足になることもわかってきました。この授業では、なぜ、AIが電気と水の枯渇させるのか、これからの社会基盤システムはどうあるべきかを考えます。	重安 哲也	プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)

E15	<p>災害対応を目的とした情報システム</p> <p>(情報学科専門教育科目・CU2・情報系:モバイルネットワークシステム)</p>	<p>近年、地震や津波などの自然災害が多発し我々の生活に対する脅威となっています。本講義では、情報学の観点からの災害対策について、その考え方や実際の本学研究室での取り組みなどについてわかりやすく説明します。</p>	重安 哲也	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
E16	<p>ゲーム理論で考える合理的な意思決定手法</p> <p>(情報学科専門教育科目・学部共通科目:経営情報論)</p>	<p>じゃんけんをする場合どのような手を出したら勝ちやすくなるでしょうか?このように相手がいる場合に合理的な意思決定法を考える理論としてゲーム理論があります。本講義では、ゲーム理論について分かりやすく説明し、実生活にも活かせるノウハウについても教えます。</p>	広谷 大助	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
E17	<p>サプライチェーンとは?</p> <p>(情報学科専門教育科目・CU1・情報系:サプライチェーンマネジメント)</p>	<p>サプライチェーンとは供給者から顧客までの一連のつながりを1つの鎖(チェーン)とみなし全体最適化を図る手法です。でも、様々な要因が組み合わさり最適化は難しい問題です。本講義ではサプライチェーンについて説明した後、簡単なゲームを通してサプライチェーンの難しさ・面白さを体験します。</p>	広谷 大助	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
E18	<p>音声認識とノイズキャンセセル</p> <p>(情報学科専門教育科目・CU2・情報系:音声信号処理)</p>	<p>携帯やスマートスピーカと対話する音声認識の仕組みについて、実演を交えて紹介します。そして、音声認識にとって大敵な雑音を取り除く方法を、皆さんの知っている知識を使いながら説明します。</p>	折本 寿子	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
E19	<p>機械学習入門</p> <p>(情報学科専門教育科目・CU1・数理系:機械学習)</p>	<p>スパム検知・顔検出・商品推薦など、データに共通する規則を機械的に見つけ出すことで様々なサービスが実現可能になります。本講義では、この機械学習と呼ばれる技術について紹介します。</p>	岡部 正幸	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
※ E20	<p>統計学入門</p> <p>(情報学科専門教育科目・CU2・数理系:確率統計)</p>	<p>50%の確率で当たるくじを10本引いたら全てハズレだった!50%の確率で当たるというのは嘘?私に運がなかったの?どちらがもっともな答えなのかを統計学を学んで理解していきます。</p>	富田 哲治	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
E21	<p>AI時代に欠かせないデータ活用の考え方</p> <p>(情報学科専門教育科目・CU2・数理系:データマイニング)</p>	<p>データは現代社会の「資源」として重要な役割を果たしており、ビジネス、医療、マーケティングなど様々な分野で活用されています。本講義では、大量のデータから有用な「知識」を発掘するプロセスを説明し、AI技術との関係や実社会での応用事例についても紹介します。</p>	陳 訓泉	<p>プロジェクタ、HDMIケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>

<p>E22</p>	<p>コンピュータにおける 計算の難しさ</p> <p>(情報学科専門教育科目・学部 共通科目:データ分析とプログラ ミング)</p>	<p>データの活用がさまざまな業種で推進されていますが、処理のやり方を考えないと、実用的な時間で処理できない可能性もあります。このような問題を回避するための基本となる「アルゴリズムと計算量」の考え方を事例に基づいて紹介します。</p>	<p>野呂 正明</p>	<p>プロジェクタ、HDMI ケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>
<p>E23</p>	<p>あなたの聞き方でAIの 答えが変わる？</p> <p>(情報学科専門教育科目・学部 共通科目:人工知能応用基礎 論)</p>	<p>レポート作成やアイデア出しなど、さまざまな場面で使われ始めている生成 AI。実は、AI の答えは「聞き方」によって大きく変わります。そこで、AI の基本的な仕組みから学び、質問の仕方によって AI の答えがどのように変わるか、一緒に試してみましょう。</p>	<p>松井 猛</p>	<p>プロジェクタ、HDMI ケーブル、スクリーン (PCは持参します)</p>

※再掲

【生物資源科学部 地域資源開発学科】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
F1	竹林の「防除」と「資源化」について考える	産学官で取り組んでいる竹林の防除に関する実証試験、およびこれまで進めてきた竹資源の利活用について、研究への取り組み方を踏まえて分かりやすく紹介します。 http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/press-release/takegai200220.html	荻田 信二郎	PC 持参します。スクリーンと黒板をご用意ください（ご要望に応じてオンライン対応も可能です）。
F2	野菜栽培や植物工場と SDGs (地域資源開発学科専門科目：基礎園芸学、蔬菜園芸学)	野菜栽培等農業は SDGs の多くの項目に関わっています。広島県特産であるアスパラガス栽培やその他の野菜栽培、また、県大で取り組んでいる植物工場が関わる SDGs について、気象変動、安全・安心、技術革新を中心に解説します。	甲村 浩之	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)。
F3	油は悪くない (学科共通科目「基礎食品学」、学科専門基幹科目「食品化学」)	油は本当に避けるべきものなのでしょうか。私たちの食や健康にとって、油がどのように役立てられているのか、化学的な基礎知識を踏まえ、最近の研究事例も交え、紹介します。	山本 幸弘	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
F4	日本の食料と農産物貿易 (食品流通学、国際食料生産論)	私たちの日々の食事は、多くの輸入食料品がなければ成り立ちません。日本の食料生産はどのようになっているのでしょうか。どうしたら、安定した食料供給が可能なのでしょうか。このような問題について、農産物貿易の視点から考えます。	村田 和賀代	PC は持参します。可能であれば、プロジェクタとスクリーンをご用意願います。
F5	加工食品ができるまで (地域資源開発学科専門教育科目：食品分析学Ⅰ・Ⅱ、食品加工学、機能性食品工学)	様々な加工技術を利用して、安全な加工食品が作られています。物理的、化学的および生物学的技術があります。実際に行った地域企業との協働開発を例にして、それらを解説します。	吉野 智之	プロジェクタ・スクリーンのご用意をお願いします。
F6	食品の機能性分析 (地域資源開発学科専門教育科目：基礎物理学、食品分析学Ⅰ・Ⅱ、食品加工学、機能性食品工学)	食品の機能性は、大きく分けて3つにわかれます。栄養、おいしさ、生体調節です。これらの分析に必要な基礎知識から、分析方法、得られた結果と考察、報告までを含めて解説します。	吉野 智之	プロジェクタ・スクリーンのご用意をお願いします。

【生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
G1	身近にある植物 vs. 病原体の攻防戦 (生命環境学科専門教育科目「植物病理学」)	植物は動けませんが、外敵から巧妙に身を守っています。病原体もあの手この手で感染しようとしています。本講義では、人間と「植物の病気」の意外な関係を紹介し、植物と病原体の果てしない攻防戦について解説します。	安藤 杉尋	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
G2	植物の動きを見てみよう	動物と比べて植物は静的でほとんど動かないという印象をもっている人も多いかもしれません。しかし植物も形を変えながら大きく成長しますし、環境の変化に応じて急激に動いたりします。本講義では、細胞レベルから個体レベルまで様々な植物の動きを紹介し、生命の面白さ・美しさや、植物を研究することが私たちの生活にどのように関わってくるかについて、理解を深めてもらいたいと思います。	金岡 雅浩	液晶プロジェクタ、スクリーン (PC は持参します)
G3	老化ってなんだろう？ ～老化から見る生命のしくみ～ (生命環境学科専門教育科目：生物Ⅱおよび生命環境学科専門教育：細胞・生体機能学)	人は皆、老化します。でも個人差も大きいのも事実です。老化とは何なのか？どうして老化は起こるのか？そして、老化の個体差は一体、何が原因なのでしょう？ 細胞生物学という視点から、老化のしくみとその防御方法（抗老化）について最近の研究内容も交えながら解説します。 また、老化や様々な病気の原因となっている“活性酸素”や化粧品開発に関わる皮膚生理について、研究室での学生の研究事例などを交えながら、大学でどんなことが学べるのかについてもお話したいと思います。 その他、ご要望がありましたら農学、生命科学系への進路選択にまつわる話や大学生の生活など高校生の進路選択の参考になるような話を盛り込むこと（アレンジ）も可能です。事前にご相談ください。	齋藤 靖和	液晶プロジェクタ、スクリーン (PC は持参します)
G4	生物の進化とゲノムの進化 (生命環境学科専門科目「分子進化発生学」)	今から約40億年前の生命誕生以来、生物はたゆまぬ進化を続けてきた。その結果、現在地球上にはバクテリアからヒトまで多様な生物が暮らしている。しかし、進化のメカニズムをDNAレベルで解明する取り組みはまだ緒についたばかりである。最新のゲノム（生物の全遺伝情報）学の成果をもとに、生物進化の謎に迫る。	菅 裕	スクリーンとプロジェクタ (PC は持参します)
G5	スペインカタルーニャの世界文化遺産、人間の塔 (大学の講義とは直接関係ありませんが、外国で研究、生活するということの面白さについてお話したいと思います。一般教育科目の文化人類学や地域の問題を学ぶ科目に近い内容になります)	皆さんカタルーニャがどこにあるか知っていますか？カタルーニャはスペインの東北部に位置し、バルセロナを州都とする「Nation」です。そこでは人間の塔という、組体操を大規模にしたような活動の伝統が息づいています。私はスペインで研究生生活を送っていた時、ひょんなことからこの人間の塔に深く関わることになりました。私は、人間の塔には、地域の衰退、教育問題、世代の隔離など、日本社会が抱える多くの問題を解決するヒントがあると考えています。この日本人にはほとんどなじみのないユネスコ世界文化遺産の話をしてしたいと思います。	菅 裕	スクリーンとプロジェクタ (PC は持参します)

G6	<p>遺伝資源とはなにか？ ～100年後、1000年後の人類のために～</p>	<p>植物の品種改良において遺伝資源は重要です。多様性を保つことの重要性について解説します。</p>	福永 健二	<p>PowerPoint (PC) とスクリーンを用意していただくと助かります。</p>
G7	<p>生物が動く仕組みを理解する</p> <p>(生命環境学科専門教育科目：生物Ⅱおよび生命環境学科専門教育：分子生物学、生体分子構造学)</p>	<p>生物の運動は生物らしさを生み出す特徴のひとつです。ここでは、生物（特に細胞）の運動を担う運動器官の中から、筋肉、鞭毛、繊毛に焦点をあて、その運動メカニズムを紹介します。</p>	八木 俊樹	<p>プロジェクタ、スクリーンを使用します。(PCは持参します。)</p>
G8	<p>微生物学の誕生と発展</p> <p>(生命環境学科専門教育科目：科学史、生物Ⅱおよび生命環境学科専門教育：微生物学、分子生物学)</p>	<p>我々の周りには多種多様な微生物がいます。その研究は、微生物の顕微鏡観察に始まり、パスツール、コッホらによって創始された近代微生物学へと受け継がれていきます。微生物研究の発展について解説します。</p>	八木 俊樹	<p>プロジェクタ、スクリーンを使用します。(PCは持参します。)</p>
G9	<p>哺乳動物の生殖生理学と家畜生産</p>	<p>食料の世界的な関税の自由化の流れにより、日本の畜産物の生産は岐路に立たされています。世界との競争から生き残るための戦略について、動物の雌の生殖生理学の視点から問題を考えてみます。</p>	山下 泰尚	<p>液晶プロジェクタ、スクリーンをご用意下さい。</p>
G10	<p>生殖と補助技術</p>	<p>人工授精や卵子の体外培養などの生殖補助技術は、ヒト不妊治療や優良家畜の増産、希少動物の保護、遺伝子改変動物の作出など様々な場面で活用され、重要性が増しています。一方で、胎児への影響を懸念する声や、ゲノム編集ベビーが産み出される危険性があります。</p> <p>安定的な次世代産出を目指して実施している生殖補助技術の開発と今後の課題を解説します。</p>	阿部 靖之	<p>液晶プロジェクタ、スクリーン (PC 持参の予定)</p>
G11	<p>「なぜ生き物はがんで死亡するのか？」</p> <p>(生命環境学科専門科目「免疫学」「細胞生物学」)</p>	<p>現在、日本人の2人に1人は一生のうちに何らかのがんになると報告されています。しかし、「がん患者はがんによってどのように死亡するのか」という一見簡単な質問に対して、実は明快な答えはありません。</p> <p>がん患者は、がんが進行すると体重減少などを起こして全身症状が悪化し「がん悪液質」と呼ばれる状態に陥ります。私は、この馴染みのないがん悪液質という病気をテーマに取り組む数少ない研究者の1人です。本講義では、モデル生物ショウジョウバエを用いたがん悪液質の研究について解説します。</p>	岡田 守弘	<p>液晶プロジェクタ、スクリーン (PCは持参します)</p>
G12	<p>細胞工学とは？ 細胞の仕組みを解明し、有用な物質を作り出すことです。</p>	<p>「細胞とは何か？」から説明し、「細胞を調べる方法」の細胞を培養する技術を紹介し、それらがどのようにバイオ産業に応用されているかを例示します。</p>	長尾 則男	<p>スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)</p>

G13	身の周りの化学	生活の中でいかに化学が役立っているかを講義します。 身の回りの状態変化や化学変化を利用したものや化学の性質や力で作られた化学物質について紹介します。	長尾 則男	スクリーンとプロジェクタ (PC持参の予定)
-----	---------	---	-------	------------------------

【生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
H1	再生可能エネルギーとは (生命環境学科専門科目：基礎環境科学実験)	現在のエネルギーは、石油を始めとする化石燃料に大きく依存しています。これは、資源の枯渇や地球温暖化など、大きな課題を抱えています。これらの問題の解決に向けて、枯渇の心配がなく温暖化の影響が少ない新たなエネルギーへの転換が、今直ぐにでも求められているのです。そこで注目されているのが、再生可能エネルギーです。	大竹 才人	スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)
H2	「環境を守る」とは何か —日本の歴史から考える— (専門導入科目：環境管理学)	環境を守るとはどういうことなのでしょう。環境問題は科学だけでなく、歴史や社会のあり方も深く関わっています。本講義では、日本列島の歴史を手がかりに、環境と人間社会の関係について考えます。	尾崎 則篤	スクリーンとプロジェクタ (PC持参の予定)
H3	CO ₂ 排出量などの環境影響の「見える化」 (環境科学科専門科目：環境社会科学)	持続可能な社会・脱炭素社会の構築が以前にもまして強く求められており、CO ₂ 排出量の環境負荷削減が不可欠になっています。CO ₂ 排出量などの環境影響は、どのように計算されているのでしょうか？ 本講義では、環境影響の見える化のための計算手法を紹介します。また、それらの情報を社会でどう活用するか？ について考えます。	小林 謙介	スクリーン(必要であればプロジェクタは持参可能です。PCは持参します。)
H4	温暖化と生物 (生物資源科学部・全学共通教育科目：いのちと科学)	近年、地球温暖化が急速に進行していますが、野生生物にも影響が見られています。この講義では、温暖化が生物に与える影響について理解を深めてもらいたいと思っています。	五味 正志	スクリーンとプロジェクタ(PC持参)
H5	それって、どれくらいあぶないの？ ～リスクアセスメントという考え方～	有害な化学物質や病原微生物、私たちの身の回りには危険がいっぱい？・・・本当？ それでは、いったいどのくらい危険なのでしょう(反対に、どのくらい安全なのでしょう)。不安をおおるような情報が独り歩きする中で、様々な危険(リスク)を冷静に、科学的に、定量的に判断し、行動するためのツール(道具)としての“リスクアセスメント”という考え方についてお話しします。	橋本 温	液晶プロジェクタ、スクリーン

H6	<p>大気オゾンの今</p> <p>(生命環境学科専門科目：大気環境科学)</p>	<p>大気のおゾンは地球環境に大きな影響を与えています。フロンガスの排出は現在廃止されていますが、大気中にとどまり、まだまだ成層圏オゾン層は破壊されています。現在のオゾンホール現状について説明します。また、私達の身近の大気を含む対流圏にある対流圏オゾンは生物に被害をもたらしますが大気汚染プロセスで対流圏オゾンは生成されます。これについても、説明します。</p>	米村 正一郎	<p>スクリーンとプロジェクター(PCは自分で準備します)</p>
H7	<p>極域と地球環境</p> <p>(生命環境学科専門科目：大気環境科学)</p>	<p>地球温暖化の最も大きな影響を受けるのが極域で温暖化が進み、北極海の海水面積・厚みは減少するとともに、南極の氷床も減少しています。そして生態系も変化してきているとともに野生生物で絶滅する動物もいます。この現状について、説明致します。</p>	米村 正一郎	<p>スクリーンとプロジェクター(PCは自分で準備します)</p>
H8	<p>身近な雑草の利活用と炭素循環／生物と化学の視点から</p> <p>(生命環境学科専門科目：化学II、有機化学、高分子化学、基礎環境科学実験、生物反応速度論)</p>	<p>身近な植物である雑草を化学物質として見直して、植物を介した炭素資源の循環とともに「価値がない」と思われることがおい雑草の、農業や工業的な利用法について考えます。「言葉」だけではなく「物質」に向き合うことで見る生物・化学・物理の観点から紹介します。</p>	青柳 充	<p>スクリーン (PC持参：プロジェクタも持参できます。)</p>
H9	<p>森林のめぐみと炭素循環／材料利用と熱利用の可能性</p> <p>(生命環境学科専門科目：化学II、有機化学、高分子化学、生物反応速度論)</p>	<p>森林資源と循環について紹介します。森林を構成する植物群は約 3 億年前から地球上の環境に適応してきました。現在の地球環境において人類をはじめ多くの生物が植物の光合成に依存しています。進化・循環・成長という 3 つの時間軸から循環型炭素資源の集合体「森林」を考えます。森林を生物・化学・物理で考えます。木材成分由来の生分解性プラスチック素材やウッドペレット燃料まで、森林のめぐみを社会で有効活用する方法を考えます。</p>	青柳 充	<p>スクリーン (PC持参：プロジェクタも持参できます。)</p>
H10	<p>身近で便利なプラスチックが生み出す環境問題について／材料と環境</p> <p>(生命環境学科専門科目：化学II、有機化学、高分子化学、生物反応速度論)</p>	<p>近年、海洋や河川・湖沼に流出したプラスチックによる環境汚染(マイクロプラスチックなど)に大きな注目が集まっています。身近で便利でプラスチックがなぜこれらの汚染の原因になってしまうのでしょうか？社会背景や化学的な原因からその対策を考えてみましょう。この問題を化学・生物・社会・文化・経済の観点から複合的に考えます。</p>	青柳 充	<p>スクリーン (PC持参：プロジェクタも持参できます。)</p>
H11	<p>ノーベル化学賞・物理学賞と化学物質の理解</p> <p>(生命環境学科専門科目：化学II、有機化学、高分子化学、機器分析化学)</p>	<p>私たちが現在学んでいる化学や物理は 19 世紀末から 20 世紀初頭の「ノーベル賞」級の様々な発見に基づいています。エックス線の発見から原子 1 つを観察できる顕微鏡などノーベル化学賞・物理学賞を中心に受賞の歴史とエピソードを交えて、化学物質が理解できるようになった背景を考えます。化学と物理を中心に、学術や科学を支えた人類の文化について考えます。</p>	青柳 充	<p>スクリーン (PC持参：プロジェクタも持参できます。)</p>

H12	<p>光を使って化学物質を調べる</p> <p>(有機化学、高分子化学、機器分析化学)</p>	<p>光は波動性と粒子性を示すエネルギーのひとつの形です。プリズムや虹のような光学的現象は古くから知られていましたが、19世紀以降にはエックス線や紫外線、可視光線、赤外線などが化学物質の仕組みや化学構造、高次構造などを明らかにできてきました。私たちが身近に使う化学物質や生命現象も光を使って調べられています。品質保証や安全性にもかかわる重要な技術です。</p>	青柳 充	<p>スクリーン (PC持参：プロジェクトも持参できます。)</p>
H13	<p>「環境にやさしいものづくり」のこれまでとこれから</p> <p>(生命環境学科専門科目：化学Ⅱ、環境有機化学)</p>	<p>プラスチック、医薬品、繊維など、私たちの暮らしを支えるモノのほとんどは、化学によって作られています。しかし、かつてのものづくりは環境への大きな負荷と引き換えでもありました。「環境にやさしいものづくり」をどのように実現するか。その歴史と現状を解説するとともに、最新の研究を例に、これからのものづくりについて一緒に考えます。</p>	小関 良卓	<p>スクリーンとプロジェクト (PC持参の予定)</p>
H14	<p>環境問題と植物プランクトン</p> <p>(生命環境学科専門科目：生物地球化学)</p>	<p>人間活動の影響を受けやすい閉鎖性水域(湖沼や沿岸域など)では、富栄養化によるアオコや赤潮などの現象がみられます。一方、外洋域では植物プランクトンの光合成能を利用した大気中のCO₂濃度の削減が注目されています。</p> <p>環境問題に対する微小な植物プランクトンの偉大な能力について、わかりやすく講義します。</p>	内藤 佳奈子	<p>液晶プロジェクト、スクリーン</p>
H15	<p>環境問題と化学反応のかかわり</p> <p>(生命環境学科専門科目：環境無機化学)</p>	<p>多量の物質を環境中に放出すれば問題が発生することはよく知られていますが、現在は他の要因の変化によっても問題が起きています。嫌気性状況下で起こる有害物質の生成や分解反応(酸化還元反応など)について紹介します。</p>	西本 潤	<p>液晶プロジェクト、スクリーン</p>
H16	<p>微生物とヒトのかかわり</p> <p>(生命環境学科専門科目：微生物学)</p>	<p>人類は微生物の存在を意識するよりもずっと以前から微生物とともに生活してきました。高温多湿な日本は微生物の宝庫であり、日本人は微生物を巧みに利用しています。微生物は小さくて目には見えませんが、その微細な微生物の素顔に親しむ一助となれば幸いです。</p>	有馬 寿英	<p>液晶プロジェクト、スクリーン</p>
H17	<p>微生物の利用</p> <p>(生命環境学科専門科目：微生物学)</p>	<p>食品や医薬品、農業や環境、エネルギーなどのさまざまな産業分野において微生物が活用されていますが、その活用には無限の可能性があるとされています。微生物がどのような形で世の中の役に立っているのか、そしてその可能性についてのお話をします。</p>	有馬 寿英	<p>液晶プロジェクト、スクリーン</p>

【保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
I1	看護学入門	看護学では、あらゆる健康レベルの人々の健康を支えるための知識と技術、態度を学びます。模擬講義では、担当教員が専門とする看護学分野を中心に学習内容を具体的にわかりやすく説明します。	窓口： 黒田 寿美恵 コース全教員で対応	スクリーンとプロジェクター PC（持参するか否か事前にご相談いたします）

【保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
J1	基礎科目から学ぶ 理学療法学入門 (理学療法学コース：専門基礎科目から選出)	理学療法の概説とその学問である理学療法学の基礎科目（概論系、運動学系、管理学系など）について具体的にわかりやすく説明します。	窓口： 長谷川 正哉 コース全教員で対応	プロジェクタ、スクリーンをお願いします。
J2	臨床科目から学ぶ 理学療法学入門 (理学療法学コース：専門科目から選出)	理学療法の概説とその学問である理学療法学の臨床科目（運動療法系、物理療法系、動作訓練系など）について具体的にわかりやすく説明します。	窓口： 長谷川 正哉 コース全教員で対応	プロジェクタ、スクリーンをお願いします。

【保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
K1	作業療法学入門 (専門科目：作業療法概論)	作業療法は作業を通して心身の健康を回復、促進する医療の専門職です。模擬講義では乳児から高齢者まで多様で広範な作業療法の実際について具体的にわかりやすく説明します。	窓口： 西田 征治 コース全教員で対応	スクリーンとプロジェクタ（PC持参の予定）
K2	脳外科医が扱う病気と脳の機能 (専門科目：中枢神経機能学)	脳神経外科医は脳卒中などの疾患の治療を担当します。どのような病気がどのような原因で生じるか、どのような症状を示すかを分かりやすくお話しします。	森 大志	スクリーンとプロジェクタ（PC持参の予定）

K3	脳機能って何？ (専門科目：中枢神経機能学)	私たちは日常生活の中で脳のことを考えることはありません。脳が持つ機能とはどんなことなのかを分かりやすくお話しします。	森 大志	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K4	「作業」って何だろう (専門科目：作業科学)	私は、私がしてきたこととしてこなかったことでできている。作業療法の基礎学問である作業科学の考え方を紹介します。	高木 雅之	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K5	ハンドセラピー (専門科目：身体障害治療学Ⅰ)	けがによって手の神経や腱が損傷した場合に、どのように作業を治療的に使って手の機能や生活機能を回復させるかを分かりやすく概説します。	西田 征治	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K6	アニメで学ぶ精神障害の理解 (専門科目：作業療法治療学演習)	おなじみのディズニーやジブリなどの作品を通して、精神障害について学びます。模擬講義では、「アナと雪の女王」から感情調節困難事例について学びます。	織田 靖史	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K7	発達領域の作業療法 (専門科目：発達障害治療学)	障害をもって生まれてくる子どもや、早期に障害をもった子どもたちに対する、幼児発達支援における作業療法士の仕事を概説します。	助川 文子	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K8	事例を通して学ぶ作業療法の魅力 (専門科目：地域作業療法学)	「作業療法ってどんな仕事？」と思う人も多いかもしれませんが。私が実際に経験した事例を通して、作業療法の仕事内容や魅力をわかりやすく伝えます。	高木 雅之	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K9	高齢者の地域生活を支援する作業療法 (専門科目：作業療法評価学実習)	高齢者が住み慣れた地域でいきいき暮らすための支援や、自立生活が難しくなった際の作業療法について事例を交えて解説します。	田中 睦英	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K10	がんになった人への作業療法 (専門科目：身体障害治療学Ⅱ)	がんになると、こころや身体、日常生活に様々な悪影響が起こります。がんになった人に対して、作業療法士がどんな仕事をするのかを解説します。	池内 克馬	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)

K11	身近にある依存症 ～作業の視点で見ても よう～ (専門科目：精神障害治療学)	アルコールや違法薬物、ギャンブルといった印象が強い依存症は、近年では市販薬やネット、ゲームの依存などによって、より身近なものになっています。そんな依存症について、作業療法士の視点で予防、治療、援助に関するお話をします。	今元 佑輔	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K12	認知症のある人への 作業療法 (専門科目：老年期障害治療学)	認知症という病気とそれにより起こりうる症状 (妄想・幻覚・不安など) をどのように理解し対応すればよいのか、認知症の分野の作業療法について、例を挙げながら解説します。	坂本 千晶	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)
K13	子どもの遊びと作業療法 (専門科目：発達障害治療学)	子どもにとって遊びは重要です。作業療法士が遊びを通して、子どもたちとどのように関わっているのかを事例を交えて紹介します。	増田久美子	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定)

【保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
L1	話す・食べることと言語聴覚士の仕事 (専門科目：発声発語・嚥下系障害学ほか)	私たちは、声帯、舌、口唇などを使って話すことによって、メッセージを効率的に相手に伝えています。話す仕組みと話しづらさの原因、話すことと食べることの密接な関係について解説します。発話の障害と摂食嚥下障害に対する言語聴覚士の仕事についても紹介します。	中村 文	スクリーンとプロジェクタ 必要に応じて PC 用外付けスピーカー (PC は持参します)
L2	言語聴覚士が対象とする障害とその専門性 (専門科目：コミュニケーション障害学概論ほか)	私たちは普段、話す、聞く (聴く)、読む、書く、食べる等を当たり前に行っています。それらがある日突然できなくなる障害とは？それらのリハビリを専門とする言語聴覚士の専門性とは？また、発達障害や認知症などに対する支援についても紹介します。	坊岡 峰子	スクリーンとプロジェクタ 必要に応じて PC 用外付けスピーカー (PC は持参します)
L3	ことば・食べることの障害と言語聴覚士 (専門科目：コミュニケーション障害学概論、発声発語障害学ほか)	言語聴覚士は、私たちの生活に欠かせないコミュニケーションと食べること (飲み込み) に関する医療・福祉分野の専門職です。対象は、子どものことば・発音の発達から、高齢者の失語症、嚥下障害まで幅広く、原因もさまざまです。言語聴覚士になるにはどんな勉強をするのか、わかりやすく解説します。	小澤 由嗣	スクリーンとプロジェクタ (PC 持参の予定、DVD 再生可能機器)

L4	<p>子どものことば・コミュニケーションの発達</p> <p>(専門科目: コミュニケーション障害診断法)</p>	<p>子どもの発達には様々な側面があります。この講義では、子どものことば・コミュニケーションの発達について、子どもにかかわる言語聴覚士の仕事を通して解説します。</p>	小島理恵子	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L5	<p>子どものことばの障害と支援</p> <p>(専門科目: 発達系障害学概論 I)</p>	<p>普段あまり意識することなく言葉話しています。言葉話すには様々な仕組みで支えられています。その仕組みがうまくいかなくなると、ことばの障害を持ちます。</p> <p>子どもの言葉の障害を中心に、言葉が話せるしくみと障害に対する支援についてご紹介します。</p>	堀江真由美	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L6	<p>子どものことばの育ちと言語聴覚士</p> <p>(専門科目: 言語発達)</p>	<p>人間は生後数年間で上手に話せるようになります。この講義では、脳の発達などの視点から、子どもの言葉の育ちについて考えます。また、ことばの育ちに遅れのある子どもの支援を行う言語聴覚士の仕事について講義します。</p>	細川 淳嗣	<p>プロジェクタ・スクリーン(PC持参します)</p>
L7	<p>聞こえにくさとコミュニケーション</p> <p>(専門科目: 聴覚障害学など)</p>	<p>聞こえにくさがどのように社会生活に影響するのだろうか、皆さんと考えてみたいと思います。特に、赤ちゃんの時から聞こえにくいと、発達段階でどのようなことが起こるかについてお話しします。</p>	佐藤紀代子	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L8	<p>聞こえ(聴覚)の障害と言語聴覚士</p> <p>(専門科目: 聴覚障害学概論)</p>	<p>聞こえ(聴覚)に障害があると、生活にどんな影響があるのか。そして、聴覚障害のある人にどんな支援ができるかを、言語聴覚士の仕事を通して理解します。</p>	長谷川 純	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L9	<p>高齢者に聞き取りやすい話し方は?</p> <p>(専門科目: 聴覚障害学演習)</p>	<p>年齢を重ねると、聞こえはどのように変化するのかをお話しします。また、高齢者と上手にコミュニケーションを取る方法を一緒に考えてみましょう。</p>	今川 記恵	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L10	<p>失語症を正しく理解しましょう。</p> <p>(専門科目: 認知系障害学概論・演習)</p>	<p>「失語症」は、「発語」を「失う」だけではありません。また、同じ「失語症」でも、様々な症状やタイプがあります。そのため、言語評価に基づいた根拠のあるリハビリを実施することが重要です。主に、失語症の症状やリハビリ・支援に関する概要を紹介します。</p>	坊岡 峰子	<p>スクリーンとプロジェクタ 必要に応じて PC 用外付けスピーカー (PCは持参します)</p>
L11	<p>言語障害者に対する拡大代替コミュニケーション手段(AAC)とは?</p> <p>(専門科目: 拡大代替コミュニケーション特論)</p>	<p>話すことや聴いて理解することが難しい場合、ことば以外にどのようなコミュニケーションの手段があるのでしょうか?文字盤といった簡単な手段から、海外の先進的なコミュニケーション機器まで様々な手段を、ビデオや実物で紹介いたします。</p>	坊岡 峰子	<p>スクリーンとプロジェクタ 必要に応じて PC 用外付けスピーカー (PCは持参します)</p>

L12	<p>音声を発するしくみと音声を聞いて理解するしくみ</p> <p>(専門科目：音声学)</p>	<p>人が声を出してメッセージを伝えたり、声を聴いて相手のメッセージを受け取ったりするしくみと、そのトラブルについて解説します。</p>	津田 哲也	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L13	<p>吃音の理解と支援を通して考えるコミュニケーション</p> <p>(専門科目：コミュニケーション障害学概論、発声発語障害学ほか)</p>	<p>吃音とはどのようなものを学び、話しくさの背景や当事者の思い、日常生活での困りごと、周囲の支援のあり方に触れながら、互いを尊重したより良いコミュニケーションについて、一緒に考えましょう。</p>	吉澤健太郎	<p>スクリーンとプロジェクタ 必要に応じてPC用外付けスピーカー (PCは持参します)</p>
L14	<p>声の科学—発声のしくみと声の病気—</p> <p>(専門科目：耳鼻咽喉科学、音声障害学ほか)</p>	<p>発声のしくみ・声の病気について、耳鼻咽喉科医師目線から、写真や動画等を交えてわかりやすく説明します。 良い声を保つためにはどのようなことに気をつけたら良いのか、また声のアンチエイジングについてお話しします。</p>	田口 亜紀	<p>スクリーンとプロジェクタ 必要に応じてPC用外付けスピーカー (PCは持参します)</p>
L15	<p>記憶のしくみ</p> <p>(専門科目：コミュニケーション障害学総合演習ほか)</p>	<p>我々が日頃、意識せずに使っている記憶とは、どのような仕組みで働いているのでしょうか？この講義では、人間の記憶のメカニズムとその障害について、認知神経心理学の立場からご紹介します。</p>	伊集院睦雄	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L16	<p>相手の気持ちが解るのはなぜなのか？</p> <p>(専門科目：発達心理学)</p>	<p>人間は心理学を学んだから、他人の気持ちが理解できるわけではなく、生得的に相手の気持ちを読み取るメカニズムを持っています。このしくみの概要と発達を紹介いたします。</p>	古屋 泉	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>
L17	<p>嫌いな食べ物のメカニズム</p> <p>(専門科目：学習・認知心理学)</p>	<p>嫌いな食べ物が生じる機構として、味覚嫌悪学習という、個体の生存に必須なレスポナント条件付け(学習)があります。動物の実験的な検討を中心に、この学習について概観します。</p>	古屋 泉	<p>スクリーンとプロジェクタ (PCは持参します)</p>

【保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース】

番号	講義名	講義内容	講師名	備考 (使用機材等)
M1	子ども虐待の発生要因とその対策 地域教養ゼミナールB（テーマ型）メンタルヘルス問題のある養育者による子育て～子ども虐待とヤングケアラーの背景要因	子ども虐待やヤングケアラー問題の実態、発生要因（メンタルヘルス問題や孤立など）、対策について、調査結果に基づいて解説します。その支援専門職になるための進路についても解説します。	松宮 透高	スクリーンとプロジェクタ（PCおよびハンドアウト資料は持参します）
M2	「応援」を仕事にする～対人援助専門職を目指す人のために～ （ソーシャルワークを体系的に理解する科目：「ソーシャルワークの理論と方法（専門）I」）	ひとが暮らしの中で出会う様々な「苦勞」。主人公として受け止め対応するには「応援」も必要ですね。そのための対人援助専門職、とりわけソーシャルワーカーについて紹介しながら、「応援」の持つ意味を考えます。	松宮 透高	スクリーンとプロジェクタ（PCおよびハンドアウト資料は持参します）
M3	多様な「障害」観を学ぶ （地域生活支援の基盤となる科目「障害者福祉」）	「障害」とは何だと思えますか。講義では、自身の「障害」観を振り返るとともに、簡単なワークを通して、社会福祉で考える「障害」について学びます。	米倉 裕希子	スクリーンとプロジェクタ（PCは持参します）
M4	「わかりやすく伝える」コミュニケーションとは？ （ソーシャルワーク実践を習得する科目「ソーシャルワーク演習（専門）IV」）	知的障害のある方とのコミュニケーションでは「わかりやすく伝える」ことが大切です。簡単なロールプレイを通して、「わかりやすく」伝えるためにはどうすればよいか一緒に考えてみましょう。	米倉 裕希子	スクリーンとプロジェクタ（PCは持参します）
M5	「認知症が拓くコミュニティ」 （地域生活支援の基盤となる科目「社会福祉の原理と政策II」）	認知症の人や家族が希望を持って暮らすことができるために、法制度や専門職だけでなく認知症の人や家族自身ができること、地域の住民活動ができることは何か。豊富な事例を使って具体的に考えてみましょう。	手島 洋	スクリーンとプロジェクタ（PCは持参します）
M6	「いきいきと働くための職場づくり」 （生活を支える資源を理解する科目「適応の心理」）	様々な困難を抱える人を支える援助職の人たちが、なぜ元気で快活に仕事に取り組んでいらっしゃるのでしょうか？ 自分だけではなく、周囲の人と協力しながらの「元氣」である秘密を考えてみましょう。	細羽 竜也	スクリーンとプロジェクタ（PCは持参します）
M7	「ストレスを振り返ることの意義」 （精神保健福祉を理解する科目「精神障害リハビリテーション論」）	ストレスを抱え、息苦しい思いをしているときに、試してみたいストレス・マネジメントの方法を、その原理とともに簡単にご紹介します。一人で行える「穏やかな」気分づくりを学んでみませんか。	細羽 竜也	スクリーンとプロジェクタ（PCは持参します）